

3年生が農産加工施設を見学

山紫海碧



おいしいパインをいただきました。

三年生が社会の学習で慶佐次にある東村総合農産加工施設を訪れました。きれいに洗われたパインは、大きさによって分けられ、ものすごい勢いで皮と芯が取り除かれて運ばれていきます。皮や芯は、さらに刻まれ、搾られてジュースになるそうです。運ばれていったパインは輪切りにされ、人の手で選別や点検されていき、次々と缶に詰められていきます。熱殺菌されて、箱詰めされて出荷されます。ゴールドバレルやボゴールなどのブランド缶詰も限定発売されるそうです。また、シークワサー、サードリンクも作られていました。前田さん、教えてくださり、ありがとうございました。



ラインの様子。 特別に撮影許可を得ています。



パインをきれいに洗い、工場内に運び。

有銘幼小中学校
学校便り 97号
山紫に海碧く
H27.11.24

ドングリでつくる少年の心



ドングリや松ぼっくりは近くの山に出かけて集めたそうです。



授業参観の日、幼稚園ではドングリや松ぼっくりなどを使い、親子でおもちゃや飾り物づくりを体験しました。皆さん、大変手先が器用で、金銀の松ぼっくりのツリー飾りやドングリ人形などが上手に作られています。ドングリに白い色をつけるのに、絵の具ではなく、修正インクを使い、そのころは感心しました。うまい方法です。



一、二年生でも校外に出かけて、秋の松ぼっくり狩りを楽しんだようです。一年の教室には県外からの太いドングリやほそいドングリや栗の実も集められていました。ドングリは沖縄では貴重な木の実はです。親子でまたつくってみたいですね。

園児がやさいづくり

有銘幼稚園生がジャガイモ植え付けを行いました。幼稚園の裏側の畑で、20個ほどの種イモを植え付けた他、大根やニンジンの種もまきました。最後に水かけして完了。来年の収穫が楽しみだね。



グリや栗の実も集められていました。ドングリは沖縄では貴重な木の実はです。親子でまたつくってみたいですね。

